

週報



2006～2007 年度

2007年 2月26日第1818回 本年度第26回

国際ロータリー
第2560地区

SanjoMinamiRotaryClub

- 【出席率】 会員61名中45名
- 【先々週の出席率】 91.23%
- 【ゲスト】 三条税務署 署長 中田和幸 様
- 【ビジター】 三条RCより 齋藤弘文君
三条東RCより 栗山正男君
- 【先週のメイクアップ】
 - 2/27 三条RCへ 天田 匡君 馬場茂夫君 星野健司君
野崎正明君 佐々木常行君 若井 博君
吉井正孝君
 - 2/24 地区諮問委員会・地区運営会議（新潟）へ
馬場信彦君 蕪澤喜一郎君 松崎孝史君
 - 2/24 地区財団委員会勉強会（新潟）へ
野崎正明君 田代徳太郎君

2006～07年度
クラブ会報特別企画



あの人 あの時
坪井 正康 君

会長挨拶

馬場 一敏 会長



挨拶致します。

本日は、三条税務署長 中田和幸様に卓話をお願いしての例会になります。よろしくお願い致します。

2月15日から3月15日まで確定申告の時期となります。当クラブ会員の税理士の方々、自営業の方々、年1回の大行事で大変のことと思います。帳簿等は分かっていますが、なかなか期日が来るまでは整理、計算が終わらず例年の如しです。景気が上向いているとたびたび言われておりますが、私には実感できません。大企業のみなのでしょうか。

中田署長さんより今後の景気の動向などをお聞きできれば幸いです。

簡単ですが、本日の会長挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー会長
第2560地区ガバナー
第4分区アシスタントガバナー
会長 馬場 一敏
三条南ロータリー事務局

ウィリアム ビル ボイド [ニュージーランド]
中 條 耕 二 [三条北]
桑 原 寛 治 [加 茂]
幹 事 田 代 徳 太 郎 SAA 広 岡 豊 樹
〒955-8666 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477 Fax 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp URL <http://www.sanjo-minami.jp>

- 中條ガバナー事務所より、「家族健康ウォーク大会 in 護摩堂山」のご案内
 と き 2007年 5月19日(土) 9:00~14:00
 ところ 田上町 護摩堂山
 スケジュール 集合 → ストレッチ → ウォーキング → 山頂集会・アトラクション
 (護摩堂太鼓) → 昼食 → ウォーキング → 解散
- 佐渡RC、佐渡南RCより トキチャリティ「鳥の歌」(二人芝居)のご案内
 と き 2007年 3月10日(土) 14:00~ 18:00~ 2回公演
 3月11日(日) 13:00~ 1回公演
 ところ 金井能楽堂
 チケット 一般 2,000円
 ※ 収益金は餌場やすみかの整備に使われます
 ※ ジェットfoil料金、宿泊料金等割引となります
- 三条RCより 市内9クラブ現・次年度会長幹事会 のご案内
 と き 2007年 4月 3日(火) 18:30~
 ところ 二 洲 楼



～ 2月26日 24,000円 今年度累計 740,000円 ～

- 税務署長 中田様
 三条東RC 栗山君
 馬場(一)君 田代君 大久保君 坂本君 馬場(信)君
 相田君 木原君、齋藤君、鈴木(囿)君、田中(久)君、野島君
 蕪澤君
 武藤君 若井君 大原君 佐藤(栄)君 坪井君
 安達君、岡村君、坂井君
 滝口君、田中(悌)君
 佐藤(秀)君
- 本日は宜しくお願ひ致します。食事代をBOXに協力させていただきます。
- メイクアップさせていただきました。BOXに協力致します。
- 中田さん、卓話よろしくお願ひ致します。
- 本日は三条税務署長、中田様ようこそいらっしゃいました。卓話宜しくお願ひ致します。
- 本日の卓話は三条税務署長、中田和幸様です。ご静聴よろしくお願ひ申し上げます。
- 三条税務署長、中田様、本日の卓話有難うございます。
- 中田三条税務署長さんをお迎えして、ご歓迎致します。電子申告の他に、海外での楽しいお話もお聞かせ下さい。
- 中田税務署長の卓話楽しみに、勉強になります。
- 中田税務署長様、本日の卓話ご苦労さまです。楽しみにしております。
- 2007~2008年度RIのテーマが決定しました。「ROTARY SHARES」・・・
 「ロータリーは分かち合いの心」です。
- 昨日は、群馬県に梅の花を見に行つて来ました。咲きはじめました。
- 大変良いお天気ですのでニコニコします。
- いい天気ですねー!
- 木原さんが沖縄遠征で36をマークされたそうです。おめでとうございます。
- 当クラブゴルフ同好会沖縄旅行、大変楽しかった。同行の皆様お世話になりました。
- 早退をお許し下さい。
- 都合で早退させていただきます。BOXに協力
- BOXに協力致します。
- BOX担当です。ご協力有難うございました。

卓話

「19年度予算案と電子申告 イータックスについて」

三条税務署

署長 中田 和幸 様



現在、国会では安倍内閣が初めて編成した19年度予算案の審議を行っております。また、先週は新潟県や三条市などの地方自治体でも19年度予算案が発表されたところでもあります。ところで、この予算でございますが、マスコミも毎年の収支尻や重点項目などについて報道していますが、なかなか報道されないのが本当の話でございます。

そこで、今日は視点を変えてお話しすると、今、皆さんが日本の上空、飛行機に乗って高度1万メートルぐらいを飛んで、眼下に日本全体を見渡しているようなイメージで聞いて下さい。

日本には人口が1億2千万人ほどいます。この国民の皆さんは税金を一生懸命納めて下さっていますが、その金額はトータルで86兆円ほどです。国に50兆円、県や市町村に36兆円が納まります。

他方で、国や県、市町村が予算という形で出費する金額はどのくらいかといいますと、国から県、市町村に交付される金額など2重計算しないよう連結して計算しますと、だいたい153兆円ほどです。

したがって、国民は国や県市町村といった行政府に86兆円納めて、そこから153兆円の行政サービスを受けているわけです。その不足分、67兆円毎年借金しているわけです。

この67兆円の借金が毎年毎年積み積もって今では国と地方を合わせて800兆円弱の残高になっています。この日本という国が1年間、皆さんが汗水垂らして一生懸命働いて稼ぎ出す金額がだいたい500兆円ですから、それよりも大きい金額の借金があるわけです。

なかなか実感が沸かないかもしれませんが、非常に乱暴ではありますが、また適切ではないと思いますが、述べさせていただきますと、夕張市は今大変なことになっていることをご存知だと思います。市民は住民税の負担や育児所やごみ収集といった行政サービスの料金の引き上げを予測して引越しをするような事態も生じていると報道されています。

さらに、先日、日銀が金利を引き上げましたので、借金の金利負担が増加しております。夕張市は人口1万3千人弱、借金の総額600億円超になります。これを1万倍にしてみてください。人口1億3千万人。借金総額600兆円。日本の人口は1億2千万人。借金総額は800兆円弱でございます。市民は夕張市から引越しを考えていますが、引越し先が日本国内であれば、果たして意味のある行為でしょうか。単純な比較はできないのですが、実は、日本全体が同じような状態に陥っているということがいえます。しかも、この借金は毎年増加しております。小泉内閣で国の借金である国債の新規発行を30兆円に抑えるということを政策として打ち出し、安倍内閣で初めて作った19年度予算の新規国債発行は25兆5千億円と少しずつ借金を減らしております。しかしながら、県・市町村の方で借金が膨らめば元も子もないわけです。

では、足りない分をどうするのか。増税するのか、といえば、それではあまりにも単純なわけでありまして。そこで、皆さんもきっと同意されるとおもいますが、次のような話がでできます。「増税の前に、まずやれることがあるだろう、公務員の数を減らせないか、行政の事務のコストを削減できる部分がないのか、もう少し効率的にできないのか」といった話です。

国家公務員の人件費は約5兆円、地方公務員の人件費が22兆円。国の鉛筆とか紙とかの行政の事務経費が約5兆円です。これをなんとか効率的にできないか。

私は今税務署長ですから、身近な税務行政の中で何かできることはないだろうかと考えたところ、通常だと紙で申告している税金の申告をパソコンやインターネットでできるようにすれば、非常に効率的になると考えたわけです。

例えば、職員は紙で申告書を1件ずつ見っていますが、1件ずつ書庫に行って取り出して、審査して、また仕舞って、次の件を取り出して審査して仕舞ってという作業をしています。これがパソコンで処理できれば、いちいち書庫に行く手間が省けます。そうすると一人当たりの処理件数が増えて、全体で人件費を抑えることができます。

また、現在、確定申告を受け付けるのに税務署では手狭ですので、税務署とは別に、燕三条駅の隣にあるリーチコアの会場を借りて受け付けております。さらに職員だけでは手に負えないので、アルバイトさんもお願

いております。これらの会場を借りる費用やアルバイトさんの人件費を合わせますと、この期間で約400万円かかります。

全国に税務署は524箇所ありますが、全国では署外会場を158箇所借りておりまして、仮に1箇所400万円とすると、毎年6億3200億円が使われていることとなります。皆さんが電子申告していただきますと、この費用が将来要らなくなります。

また、三条税務署は水害で水没しましたが、これを建て替えるとなると、実際は予定していませんが、ざっと5億円かかるそうです。ところがパソコンで処理できるようになれば、データを保存しておく書庫も将来要らなくなります。その分、建て替え費用が安くなるわけです。

こうした目先の細かい話かもしれませんが、少しずつ無駄取りをしていくことが将来を見据えた時に必ず大事になってくるわけです。

さて、この電子申告、イータックスですが、実は最初はなかなか面倒な作業でございます。イータックスの1つの目的は納税者の利便性の向上と申しましたが、私もやってみたのですが、①まず税務署に電子申告の開始届けを提出して、②次に市役所に行って住民基本カードを用意して、③これを読み取る「カードリーダー」という機械をパソコンにつないで、といろいろと作業を進めていく必要があります。

一つ朗報なのは、税理士が関与されている法人の方は、「イータックスでやってくれ」と一言お声をかけて下さい。後は税務署に開始届けさえ出せば法人税の申告はやってもらえます。

それでは、毎月の源泉所得税はどうなるのか。そこまでやってくれる税理士先生がいればいいのですが、税理士先生も多くは年に1回の決算なら対応するが、毎月の源泉所得税となると数が多すぎて対応できないという声があります。

そこで、会社で、皆さんがやらなければならなくなります。どうやるかといいますと、まずは税務署にこの開始届けを出してもらおうのですが、1度出されている会社は結構です。

次に、社長様に住民基本カードを市役所に行ってもらってきていただきたいのです。費用は500円ですが、三条市の場合、住民基本カードの発行は無料です。これは全国でも非常にありがたい制度です。

そして、このカードに電子認証をつけてもらって下さい。これは500円かかります。

これが、なかなか忙しい社長様にそんな時間を割かせることはできないという話がよく出てくるのですが、実はこの三条ではもう3桁の社長様が取得して下さっています。

あとは、このカードをパソコンで読み込ませる「カードリーダー」という機械を電気屋かパソコンのネットショップで取り寄せて、つなぎ合わせれば利用環境は整います。

その後は、税務署か決算説明会などで皆様に説明を行いますし、あるいは税理士にご相談下さい。また、税務署に、やりたいのだけどどうしたらいいかとお電話下さい。対応させていただきます。

さて、話を戻し、このイータックスのシステムを導入し、また宣伝広告などにかけている費用も含めるとNHKの報道によれば、これまで500億円程度の費用をかけているそうです。

また、三条税務署管内では約4分の1の会社がイータックスを始めるといってくれています。

これまでかけた費用と既に導入を決めている方がこれほどいるという現実を前にすると、もう後戻りはないわけでありまして。後は1社でも多くの会社が源泉所得税の申告や法人税の申告に利用していただき、1人でも多くの方が確定申告で利用していただけるようお願いするわけでございます。

やらないということは、この500億円の経費を無駄にすることになります。勝手に500億円も使ってイータックスの仕組みを入れ、使わないとこの金が無駄になるとの脅迫まがいはひどいではないかというご意見もあると思います。私も内心、どこかでそう思う部分もありますが、済んでしまった話と現実の目の前の話を整理して、率直に現状をお話しますと、やらないと500億円をどぶに捨てることになるわけです。

500億円というと、毎年の国民年金が1人約80万円ですから、6万2500人分になります。これだけの経費をかけて進めてきたわけでありまして。

そして、先ほど申しましたように、日本では国民全体が、といっても実感がわからないのですが、皆さん1人1人が、実はとんでもなく膨大な借金を抱えているわけでありまして。

こう考えると、もうやるしかないわけです。無駄にできないのです。そして、発想を180度変えて、やるとなった以上はどんどんやってみて、こうしたらいいよという改善内容を私や税務署にどんどん教えていただきたいのでございます。

幸い、この三条地区は電子申告が非常に進んでおり、東京を始め全国から視察が相次いでおります。こうした機会にも、実際にイータックスを利用された皆さんの声を直接お届けすることができるわけです。

是非とも皆様のお力で、1社でも多くの方にイータックスのご利用をお誘いいただき、1人でも多くの従業員の方が確定申告でご利用いただき、利用した上での改善の声を我々にお聞かせ願いたいと思います。

そして、皆さんの声で、この三条から全国に、少しでも良い制度を広め、少しでも良い世の中に変えていただきたいと思っております。

最後に、今の国の借金は、上越新幹線や関越自動車道を造るための建設費用である建設国債は昭和41年に始まりました。これらの借金は、まだ担保となる資産があります。これを造るために借りたといえるものがあります。しかし、昭和50年から始まった借金は赤字国債といわれていますが、単純に足りない分を補うためのもので、お年寄りの年金等に消えました。もう消費してしまっただけで跡形もなくなり、借金だけが残っているわけです。勿論、当時は第2次オイルショックなどの影響による景気対策もあり、やむにやまれぬ事情があると思います。いつの時代にも課題・難題は尽きません。尽きないから人生面白いのだと思いますが、この借金の問題は、借金をした人、借金の恩恵を受けた人が片付けるべきです。

この国をどうやって運営していくのか、次の世代に手渡していくのか、きれいごとではなく、しっかり考えていくことが必要になってきています。

今年平成19年です。今日は2月26日ですから、あと33日経ちますと4月になります。4月にはいよいよ平成生まれが社会人になってきます。税務署にも入ってきます。

先日、ある高校で税金についてお話した際に、最語にアンケートをとったのですが、こういう回答がありました。「借金は昭和の世代が作ったもの」。

皆さんの中には、心のどこかで、自分は戦後生まれだから、戦争責任といわれても、今ひとつピンとこないという方もいらっしゃるかもしれません。それと同じような感覚かと想像できます。平成の世代は、昭和の世代が作った借金を本当に面倒見るか分かりません。いや、そんなことを期待するよりも、次の世代により良い社会を手渡すためにも、昭和の世代が作った借金は、昭和生まれの大人の手で解決すべきでありましょう。

我々昭和の世代が、ここで頑張れば、将来必ずこの社会はよくなります。会社でいえば、税金の面でコストダウンが図れます。安易に税金をあげたりしなくてすむわけですし、仮に将来税金をあげなければならなくなったとしても、その上げ幅を抑え込むことができるわけです。

是非とも、電子申告 イータックスの導入を、開始届けを税務署に提出していただきたいとお願い致します。

3月のお祝い

会員誕生

2日・谷 晴夫君

25日・齋藤嘉一君

夫人誕生

3日・大原真知子（義弘）さん

4日・田代恵美子（徳太郎）さん

5日・平松貴子（修之）さん

18日・広岡頼子（豊樹）さん

26日・滝口ミヨ（恵介）さん

31日・西巻富紗（克郎）さん

結婚記念

5日・丸田肇一君・静江さん

14日・広岡豊樹君・頼子さん

16日・安達 裕君・範子さん

21日・坪井正康君・恭子さん

23日・吉田 衛君・久子さん

28日・渡邊光郎君・ノリさん

30日・馬場一敏君・静子さん

30日・滝口恵介君・ミヨさん

* * * おめでとうございます * * *

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから

I 真実か どうか

III 好意と友情を深めるか

II みんなに公平か

IV みんなのためになるか どうか